

出張医学教育FD(諏訪中央病院)

【日 時】平成27年7月9日(木) 18:00

【場 所】諏訪中央病院

【参加人数】23名

【内 容】

○信州大学の新しい臨床実習

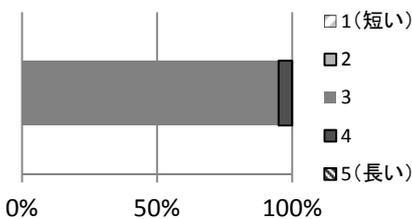
- ・150通りの選択肢からなる参加型臨床実習について
- ・学生が行うことのできる医行為について
- ・臨床実習の指導医

○学生の評価について

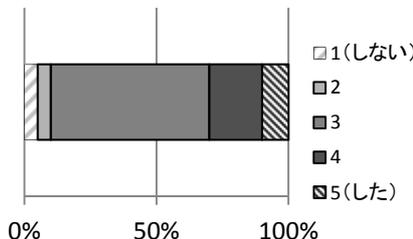
- ・ポートフォリオについて



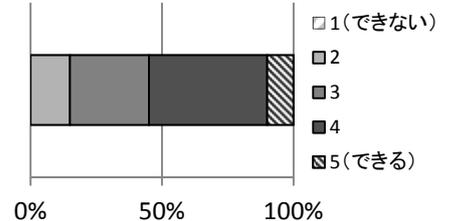
FDの開催時間はいかがでしたか。



FDはニーズにマッチしましたか。



学生の評価ができるようになりますか。



参加者の意見

FDで分かったこと	FDで疑問が残ったこと	ご意見
全体像ではなく、個々の現象の考察に焦点を当てられていたこと。	本当にこの評価のみで、人の評価ができるのか。	学生教育は大変だということがわかりました。入試から工夫して良い人を探れるように工夫してほしいですね。(工夫されていると思いますが..)
ポートフォリオの評価に取り組んで「いることがわかりました。	侵襲性のある行為はさせないように、ということでしょうか。	良い話でした。
自分が学生の頃の30年前とは違い、手厚く面倒を見るようなシステムが作られていること。	”ポートフォリオ”という言葉自体に馴染みが薄い世代です。できれば日本語にしてほしいです。	できれば、高評価と低評価のポートフォリオの例を提示していただくと、よりわかり易いと思う。
新しい取組の流れが良くわかりました。	指導側の評価。	信州大学の実習は、少し、チェックリストが多い様な気がします。
ポートフォリオ。	ポートフォリオの具体例。	初期研修医に求められることは何でしょうか？学生さんにとってと同様に、私たちにとっても、学生の存在は大きな刺激になっています。半学半教の場、屋根瓦式のモデルだと思っています。ありがとうございます。
新しい臨床実習制度。	ポートフォリオの具体的な評価基準が分かりにくかった。	
ポートフォリオは、今後、医師も学ぶべきということ。	具体的なポートフォリオの指導方法。	
ポートフォリオの大切さ。重要性。	学生の時に到達すべきスキル。(膨大な専門科がある中で困難だと思いますが..)	
ポートフォリオの意味。内容については更に勉強が必要。		
ポートフォリオの必要性。		
学生に対する評価の考え方が理解できた。		
信州大学は学生を大切にしていることが分かった。		
大学側、行政側がどういった流れで動こうとしているのかが分かってよかった。		
今後の医学教育、とりわけ、学生の在り方。ポートフォリオ。		